



Peregrine | AssetCenter
AssetCenter Web

© Copyright 2002 Peregrine Systems, Inc.

All rights reserved.

本書に記載されている情報は、Peregrine Systems, Incorporatedが所有し、Peregrine Systems, Inc.の書面による許可なく使用または開示することはできません。本書の一部または全部を、Peregrine Systems, Inc.の事前の書面による許可なく無断で複製することを禁じます。本書に記載されている商品名は、該当する各社の商標または登録商標です。

Peregrine Systems ®およびAssetCenter ®は、Peregrine Systems, Inc.の商標です。

本書で説明されているソフトウェアは、Peregrine Systems, Inc.とエンドユーザ間で締結されるライセンス契約に基づいて提供されます。契約の条項に従って、ソフトウェアを使用する必要があります。Peregrine Systems, Inc.は、本書の内容については一切の責任を負いかねます。また、本書の内容が予告なく変更されることもあります。本書の最終バージョンの日付を確認するには、Peregrine Systems, Inc.のカスタマサポートまでお問合せください。

デモ用データベースと本書の例に使用されている団体名および個人名は架空のものであり、本ソフトウェアの使用方を説明するためのものです。現在、過去を問わず、実在する団体や個人とのいかなる類似もまったくの偶然によるものです。

本製品に関する技術情報の請求、またはライセンスをお持ちの製品に関するマニュアル類の請求については、Peregrine Systemsのカスタマサポート (support@peregrine.com) までお寄せください。

本マニュアルに関するご意見やご要望は、Peregrine Systems, Inc.の出版部 (doc_comments@peregrine.com) までお寄せください。

本書の内容は、ライセンス契約に基づくプログラムのバージョン4.2.0に適用されます。

AssetCenter

Peregrine Systems, Inc.
Worldwide Corporate Campus and Executive Briefing Center
3611 Valley Centre Drive San Diego, CA 92130
Tel 800.638.5231 or 858.481.5000
Fax 858.481.1751
www.peregrine.com



目次

1. はじめに	7
概要	7
作動原則	8
本マニュアルについて	10
表記法	10
2. AssetCenter Webのインストールと設定	13
インストール手順	14
AssetCenterのインストール	14
AssetCenter Webのインストールと設定	14
稼動環境	14
ハードウェアに関する必要条件	14
ソフトウェアに関する必要条件	15
必要条件	15
AssetCenter Webのインストール	16
3. AssetCenter Webの管理	23
管理モジュールの使用	23
Tomcatサーバを起動 / 停止する	24
Tomcatのオプションパラメータ	24
シングルセッション用にTomcat変数を設定する	24

Tomcatパラメータを永久的に設定する	25
管理モジュールへのアクセス	25
コントロールパネルを使用する	26
導入バージョンのリストを表示 / 印刷する	27
サーバのログを参照する	27
設定ページを使用する	30
パラメータを定義する	31
スクリプトのステータスを確認する	31
メッセージキューを表示する	31
キューのステータスを表示する	32
多言語用にシステムを設定する	32
コンテンツタイプのエンコードを設定する	32
ロケールコードを設定する	33
通貨コードを設定する	35
フォーム情報を表示する	38
フォームの詳細を表示する	39
ユーザ登録	41
パスワードの変更	42
ユーザセッションのログとモニタリング	44
「usage.log」ファイルとは?	44
ログ設定の定義	45
カスタマイズ機能	46
カスタマイズ機能のアクセス権限	46
ユーザのカスタマイズ権限	47
必須パラメータ	48
4. AssetCenter Webの使用	51
インタフェース	51
AssetCenter Webへの接続	51
メインメニュー	52
参照ウィンドウ	52
ツールバー	52
AssetCenter Web画面で使用可能なアイコン	53
接続の切断	53
デフォルトのWebアプリケーション	53
使用可能なモジュール	53
契約の管理に関連する機能	54
ファイナンス管理に関連する機能	54
ポートフォリオ管理に関連する機能	54
機能例	55
表示されるデータ	58
ライブデータ	58
セキュリティで保護されたデータ	59



図の一覧表

2.1. CDのブラウザインタフェース	16
-------------------------------	----

1 | はじめに

本マニュアルでは、AssetCenter Webをインストールし、使用方法を詳しく説明します。

このバージョンのAssetCenter Webは、AssetCenter 4.2.0用に設計されています。

概要

AssetCenter Webは、従業員一人一人がインターネットブラウザを使ってAssetCenterデータベースのデータにアクセスすることを可能にします。

ユーザは自分の権限に応じて、AssetCenterデータベースに対して様々な操作を実行できます。資産レコードの表示などの簡単な操作から、資産の追加や削除などの複雑な操作までを実行できます。

AssetCenter Webには、主に以下の3つの利点があります。

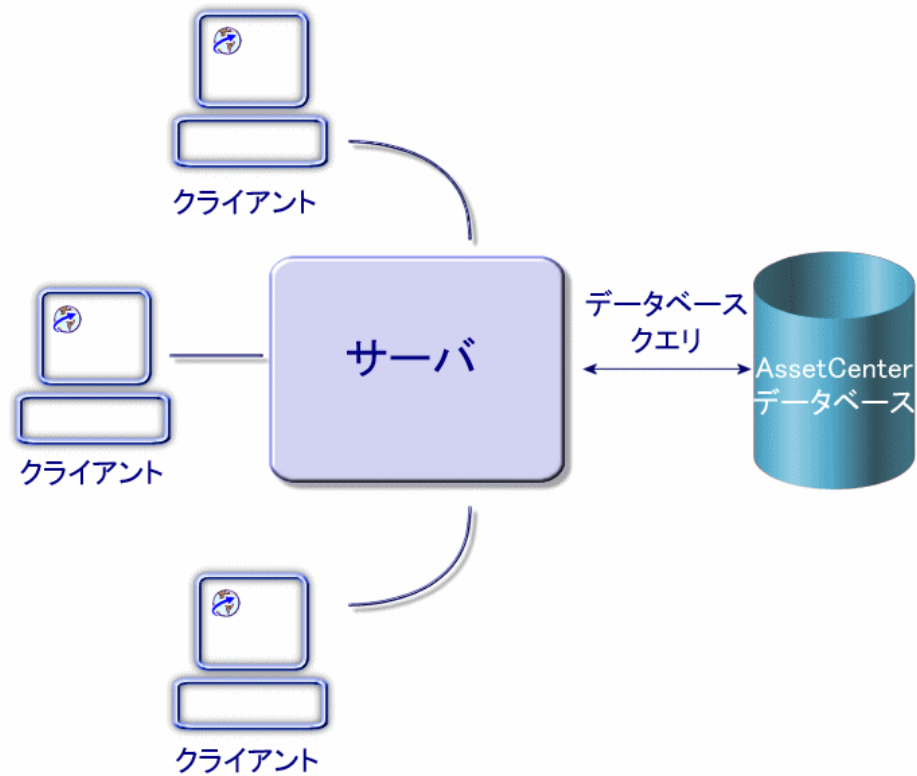
- 大多数のイントラネット/インターネットサイトが固定データを提供するのに対し、AssetCenter Webは動的なデータを提供します。AssetCenterデータベースのデータと同一のデータが、AssetCenter Webユーザの画面に表示されます。AssetCenter Webは、新たに表示されるページの情報をリアルタイムで更新します。

- AssetCenter Webは、ユーザがAssetCenterデータベースへインタラクティブにアクセスすることを可能にします。この結果、ユーザは以下の操作をリアルタイムで実行できます。
 - データベースクエリ、ユーザプロファイルなどの条件に応じて、AssetCenterデータベースの一部のデータまたは全データを参照する。
 - データを検索する。例えば、ユーザは自分に割り当てられた作業指示をトラッキングすることができます。
 - データを変更または削除する。
- AssetCenter Webは、AssetCenter Web経由のAssetCenterデータベースへの全アクセスを制御します。

作動原則

AssetCenter Webは、Open Application Architectureテクノロジーを用いた様々なWebアプリケーションを集結するアプリケーションです。Open Application Architectureのアーキテクチャ（およびAssetCenter Webのアーキテクチャ）は、以下の目的で設計されています。

- 企業の全従業員に様々なサービスを提供する。
- ユーザがどこからでもサービスにアクセスできるようにする。
- ユーザが既定のタスクを迅速に達成できるようにする。



インストール手順の詳細については、マニュアル『Open Application Architecture Platform Administrator's Guide』（英語版）を参照してください。

AssetCenter Webソリューションをインストールするには、以下のコンポーネントをインストールし、設定する必要があります。

- SDK Java2 Standard Edition v1.3.1_01。これはJava Runtime Environmentを含んでいます。
- Tomcat 3.2.4アプリケーションサーバ
- AssetCenter

- OAA（Open Application Architecture）プラットフォーム。（AssetCenter WebのWebアプリケーション用に特別に設定されたバージョン）

 **注意:**

AssetCenter WebのWebアプリケーションには、最も広く使用される機能が既に含まれています。しかし、ペレグリンシステムズのサポートからキットを取り寄せて、他のWebアプリケーションを開発したり、既存のWebアプリケーションをカスタマイズしたりすることも可能です。このキットにはGet-It Studioと、AssetCenterWebアプリケーションのプロジェクトが含まれています。Get-It Studioの使用に関しては、Get-It Studioのマニュアルを参照してください（現在英語版のみ入手可能）。

本マニュアルについて

本マニュアルは、AssetCenter Webをインストール、設定、管理する管理者、およびAssetCenter Webの一般ユーザを対象としています。

管理者の方は、本マニュアルの全章、およびOAAのマニュアルすべてをお読みください。

一般ユーザの方は、以下の章をお読みください。

- 第1章 - はじめに
- 第3章 - AssetCenter Webの使用

表記法

本マニュアルでは、以下の表記法が使用されています。

表記法	説明
コード	コードやコマンドの例
Courrier体のテキスト	DOSコマンド、関数のパラメータ、およびデータ形式
...	コードまたはコマンドの省略
注意:	注意事項
補足情報	
重要項目:	ユーザ向けの重要な情報
注意してください...	

表記法	説明
ヒント: ヒント...	ヒント
警告: 警告	ユーザに対する警告情報
[オブジェクト名]	フィールド、タブ、メニュー、キー名など

他に以下の表記法も使われています。

- 特定の順序で実行する必要がある手順は、以下の例のように番号付きリストで記述されています。
 - 1 ステップ1
 - 2 ステップ2
 - 3 ステップ3(この場合、最終ステップ)
- 本マニュアルに記載されている図や表には、対応する章番号と記載順に応じて番号が付けられています。例えば、第2章に記載されている4番目の表は、「表2-4」と番号付けられます。

2 | AssetCenter Webのインストールと設定

本章では、AssetCenter Webを最適な方法でインストール、設定する方法を段階を追いながら説明します。以下のコンポーネントをインストール/設定します。

- AssetCenter
- OAA
- AssetCenter WebのWebアプリケーション

重要項目:

管理者の方は本章を必ずお読みください。一般ユーザの方が本章を読む必要は特にありません。一般ユーザは、URL (Webアドレス) を使ってインターネットブラウザ経由でAssetCenter Webの機能にアクセスできます。

インストール手順

⚠ 警告:

AssetCenter Web旧バージョンを既にご使用の場合は、必ずこのバージョンをアンインストールしてから、AssetCenter Web 4.2.0をインストールする必要があります。Get-Resources 2.5が既にインストールされている場合、AssetCenter Web 4.2.0のインストールプログラムはGet-Resources 2.5を感知し、AssetCenter Web 4.2.0のWebアプリケーションを、Get-Resources 2.5のWebアプリケーションに追加して更新を実行します。

AssetCenterのインストール

AssetCenterのインストールおよび設定に関しては、AssetCenter付属のインストールガイドを参照してください。

AssetCenter Webのインストールと設定

本節では、AssetCenter WebとAssetCenter Webの各コンポーネントをインストール/設定する方法を説明します。以下のコンポーネントをインストールします。

- Java2 SDK、Java環境
- Tomcat 3.2.4、アプリケーションサーバ
- OAA

以下で説明する手順は、デフォルトのWebサーバおよびJavaサーバ（Tomcat）のインストールと設定に関する手順です。従って、別のWebサーバやJavaサーバを使う場合は、本マニュアルの指示を適用することはできません。

稼動環境

ここでは、WindowsでAssetCenter Webをインストールするためのハードウェアとソフトウェアに関連する必要条件を説明します。以下の必要条件が満たされていることを確認してから、インストールを実行してください。

ハードウェアに関する必要条件

- 400Mhz以上のPentium II、最低256MBのRAM

- 最低150MBの空き領域のあるハードドライブ

ソフトウェアに関する必要条件

- Microsoft Windows NT 4.0 Server、Windows NT Workstation、またはWindows 2000
- Microsoft Internet Information Server (IIS) 4.0 (MicrosoftのWebサイトからダウンロード可能)



注意:

Windows NT Workstationは、Personal Web Server (PWS) アプリケーションを使用します (Internet Information ServerはWindows NT Serverでのみ稼働)。Windows NTを使用する場合、Microsoftライセンスは、このプロダクション環境でServerバージョンを使用するように要求します。

必要条件

AssetCenter Webをインストールする前に、以下の事項を確認してください。

- 1 お使いのサーバにJDKがインストールされていますか？ AssetCenter WebのインストールCDには、Java2 SDKバージョン1.3.1が含まれています。1.3.1より古いバージョンのJDKをご使用の場合は、OAAをインストールする前にこの旧バージョンを必ずアンインストールしてください。
- 2 お使いのサーバにWebサーバがインストールされていますか？ Get-ItのインストールCDには、JRun 3.1が含まれています。3.1より古いバージョンのJRunをWebサーバとしてご使用の場合は、Get-Itをインストールする前にこの旧バージョンを必ずアンインストールしてください。



警告:

オペレーティングシステムの制約により、JDK、TomcatおよびOAAの各インストールパスは、8文字を超えてはいけません。8文字を超えると、JavaサーバはJavaのダイナミックライブラリおよびベレグリンシステムズのダイナミックライブラリを正しく読み込むことができません。JDK、TomcatおよびOAAは、必ずハードドライブのルートにインストールしてください。1つでも長いパスを指定すると、Webアプリケーションのページが正しく表示されないことや、全く表示されないことがあります。

AssetCenter Webのインストール

AssetCenter Webの完全インストールでは、以下の3つの手順に従う必要があります。

- 1 Java2 SDKをインストールする
- 2 Tomcat 3.2.4をインストールする
- 3 OAAをインストールする

注意:

インストール時に、仮想ディレクトリ「getit」がWebサーバ（IISまたはPWSのみ）上に自動的に作成されます。

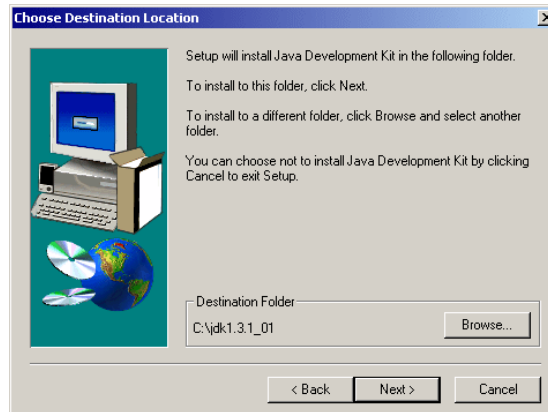
ステップ1 - JDKのインストール

- 1 AssetCenter WebのCD-ROMを挿入します。インストールプログラムが自動的に起動されます。CDを挿入してもインストールプログラムが起動しない場合には、CD-ROM内で「autorun.exe」ファイルを検索します。このファイルをダブルクリックすると、インストールプログラムが起動され、CDのブラウザインタフェースが表示されます。

図 2.1. CDのブラウザインタフェース



- 2 【 Install Java2 SDK 】 (Java2 SDKのインストール) をクリックします。まず Javaの splash スクリーンが表示され、次にユーザライセンスの画面が表示されます。
- 3 ライセンスを注意深く読んでから、【 Yes 】 をクリックしてライセンスの条項に同意します。次にウィザードで、JDKのインストール先ディレクトリを選択します。



- 4 デフォルトのパスを編集するには【 Browse 】 (参照) をクリックして、ハードドライブのルートにあるディレクトリを選択します。【 Next 】 (次へ) をクリックします。

 **注意:**

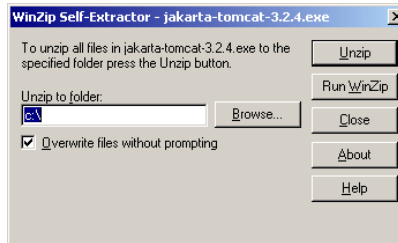
以下の例のように、JDKをハードドライブのルートにインストールすることをお勧めします。

`c: /jdk`

ウィザードはJDKのインストールを実行します。インストールの実行ステータスを示すメッセージが表示されます。インストールに成功すると、CDのブラウザインタフェースが再度表示されます。

ステップ2 - Tomcat 3.2.4のインストール

CDブラウザで、 [Install Tomcat 3.2.4] をクリックします。WinZip Self-Extractor プログラムが表示されます。

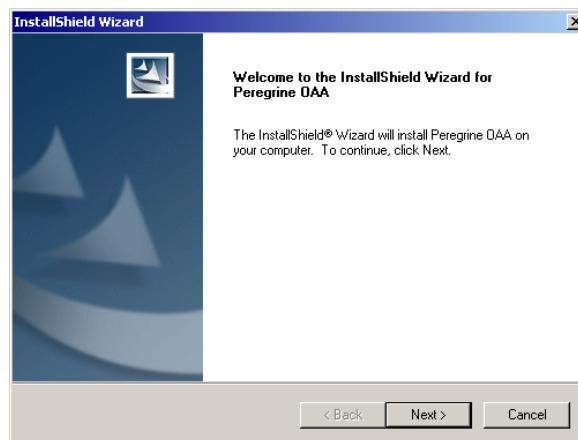


[Unzip] をクリックしてファイルを解凍します。指定された場所に「jakarta-tomcat-3.2.4」フォルダが自動的に作成されます。

この段階ではTomcatを起動しないでください。次のステップに進んで、AssetCenter Webのインストールを続行します。

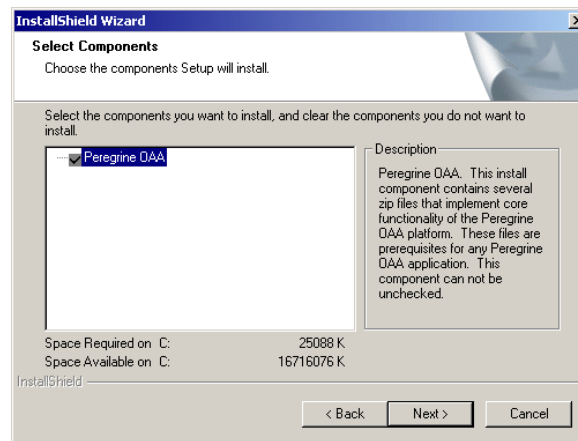
ステップ3 - Peregrine OAAのインストール

CDブラウザで、 [Install Peregrine OAA] をクリックし、OAAのインストールウィザードが表示されるのを待ちます。

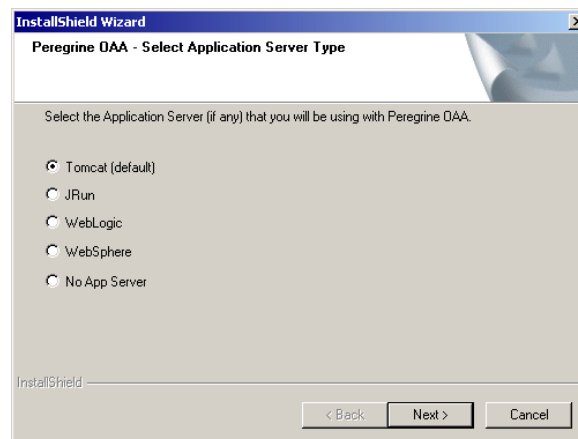


1 [Next] をクリックします。ユーザライセンスの画面が表示されます。

- 2 ライセンスを注意深く読んでから、【Yes】をクリックしてライセンスの条項に同意します。ウィザードはOAAのインストール先フォルダを示します（デフォルトのパスは「C:\baa」です）。【Next】をクリックします。
- 3 インストールされるコンポーネントを列挙する画面が表示されます。【Next】をクリックします。

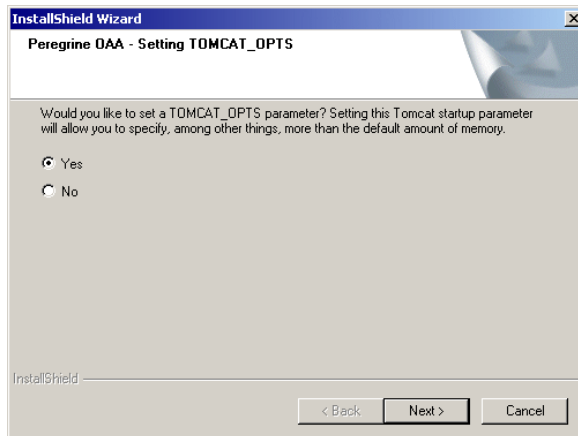


- 4 Peregrine OAAと共に使用するアプリケーションサーバを選択するための画面が表示されます。



Tomcatがデフォルトで選択されていることを確認し、【Next】をクリックします。

- Tomcatを選択すると、【Setting TOMCAT_OPTS】ダイアログボックスが表示されます。



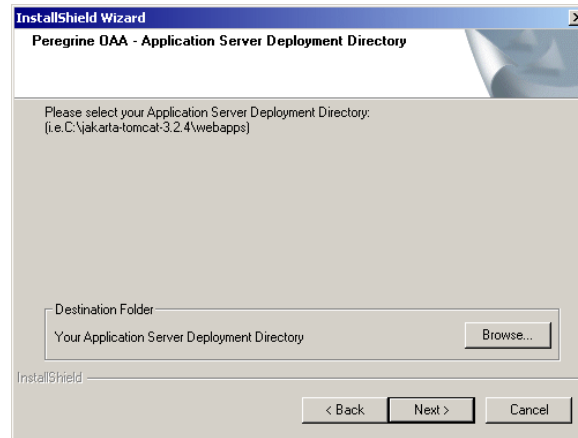
【Yes】を選択し、【Next】をクリックします。Tomcatが使用する最大メモリを指定するためのダイアログボックスが表示されます。【Memory】フィールドに「-Xmx256m」とデフォルトで入力されていることを確認してから、【Next】をクリックします。

- Tomcatの起動パラメータが保存されたことを示すプロンプトが表示されず。



【OK】をクリックします。

- 7 【 Application Server Deployment 】ダイアログボックスが表示されます。



【 Browse 】をクリックして、アプリケーションサーバのインストール先ディレクトリを選択します (C:\baa)。【 Next 】をクリックします。

- 8 導入が終了すると、以下のメッセージが表示されます。



OAAのインストールが完了しました。【 Finish 】をクリックします。次に、「c:\jakarta-tomcat-3.2.4\conf\server.xml」ファイルを以下のように変更します。

```
<Context path="/oaa"
  docBase="c:/oaa/oaa"
  crossContext="true"
  debug="0"
  reloadable="true"
  trusted="false" >
</Context>
```

 **注意:**

OAAをインストールすると、AssetCenter Webの使用に必要なWebアプリケーションが自動的にインストールされるため、他の操作を行う必要は一切ありません。

3 | AssetCenter Webの管理

本章では、AssetCenter Webの管理に関する情報が記載されています。

AssetCenter Webの管理モジュールでは、特にAssetCenter WebのWebアプリケーション経由でユーザが使用するAssetCenterデータベースへの接続を宣言します。管理モジュールでは、AssetCenter Webの使用に関連するすべてのパラメータを設定できます。

管理モジュールの使用

AssetCenter Webの管理モジュールの使用目的は次のとおりです。

- OAAとバックエンドシステム（この場合、AssetCenter）間の接続をモニタする。
- OAAサーバのアクティビティを記録するサーバログを表示する。
- Archway設定ファイル（「archway.ini」ファイル）のパラメータを表示する。
- ECMAスクリプトを起動、および終了する。
- メッセージキューを表示する。

本章では、Tomcatの起動/停止方法、Tomcatのオプション変数の設定、ユーザの自動登録、パスワードの変更、実行中のフォームおよびスクリプトに関する情報の表示についても説明します。

Tomcatサーバを起動 / 停止する

Tomcatを起動または停止するには、以下の手順に従います。

- 1 MS-DOSコマンドプロンプトを開きます。
- 2 「<tomcat>bin」ディレクトリへ移動します。
- 3 以下のコマンドの1つを入力します。

アクション	プラットフォーム	コマンド
Tomcatを起動する	Windows	startup
Tomcatを起動する	UNIX	tomcat.sh start
Tomcatを停止する	Windows	shutdown
Tomcatを停止する	UNIX	tomcat.sh stop

Tomcatのオプションパラメータ

お使いのシステムの最適化を図るためのTomcatパラメータが多数あります。これらのパラメータのリストおよび使用方法については、Java SDKのマニュアルを参照してください。Java SDKのREADMEファイルには、JAVA関連の文書に関する情報、およびSun Javaのインターネットサイトへのパス（現在のアドレス：java.sun.com）が記載されています。

警告:

Tomcatパラメータを変更する場合、開発環境で設定の変更をテストした後に、本番用のシステムで設定の変更を適用してください。

シングルセッション用にTomcat変数を設定する

以下の手順に従って、単一の作業セッション用に値を設定します。

- 1 Tomcatが実行中である場合は、停止します。
- 2 Tomcatを起動するために使用するMS-DOSコマンドプロンプトで、以下のシンタックスに従って定義を入力します：set TOMCAT_OPTS xxxx（「xxxx」は、Javaのマニュアルで定義された変数に当たります。）
- 3 [Enter] キーを押します。
- 4 Tomcatを起動します。設定した変数は、現行の作業セッションでのみ有効です。Tomcatを停止すると、変数はデフォルト値にリセットされます。

Tomcatパラメータを永久的に設定する

Tomcatパラメータを永久的に変更するには、以下の手順で、お使いのシステムの環境変数に変数を追加します。

- 1 【システムプロパティ】ダイアログボックスを開き、【環境変数】タブを選択します。
- 2 パラメータとパラメータ値を、【システム変数】セクションまたは【ユーザー変数】に追加します。
- 3 【OK】をクリックします。

管理モジュールへのアクセス

管理ページでは、AssetCenter Webを設定することができます。

バックエンドシステムに接続せずに管理モジュールにアクセスできるように、デフォルトの管理者「Admin」が設定されています。システムを設定した後、ナビゲーションメニュー、またはホームページの【管理】タブから管理モジュールにアクセスできるようになります。

警告:

管理モジュールを使ってパラメータを変更すると、変更パラメータを保存するために、「local.xml」ファイルが「<application server>/webapps/baa/WEB-INF」ディレクトリに作成されます。AssetCenter Webを再インストールする場合、「local.xml」ファイルのコピーを作成し、AssetCenter Webインストール外に格納しておきます。これを実行しないと、再インストール時にパラメータ値が喪失することになります。

管理用ポータルにアクセスするには、以下の手順に従います。

- 1 アプリケーションサーバ（例：Tomcat）が起動されていることを確認します。
- 2 Webブラウザのアドレスフィールドで、以下のアドレスを入力します。

注意:

<localhost>には、使用しているOAAのサーバ名を入力します。

- 3 【ENTER】キーを押します。ポータルの管理者用ログインページが表示されます。
- 4 【名前】フィールドに「Admin」と入力します。パスワードを入力する必要はありません。
- 5 【管理者としてログイン】をクリックします。

- 6 【コントロールパネル】ページが表示されます。管理モジュールでは、以下のアクティビティを使用できます。
- コントロールパネル：バックエンドシステムへの接続ステータスを確認できます。
 - 導入バージョン：インストール時に導入された全パッケージのリストを表示 / 印刷できます。
 - サーバのログ：AssetCenter Webサーバのイベントを表示します。
 - 設定：Peregrineポータルのパラメータを表示 / 変更できます。
 - スクリプトのステータス：実行中のスクリプトを確認できます。またこの画面では、スクリプトを開始および停止できます。
 - メッセージキュー：すべてのメッセージキューのリストを表示します。
 - キューのステータス：キューの現行ステータス（使用可能、アンロック、中断）を確認できます。

重要項目:

OAAサーバの管理について詳しくは、マニュアル『Open Application Architecture Platform Administrator's Guide』を参照してください。

コントロールパネルを使用する

管理モジュールに初めてアクセスすると、【コントロールパネル】ページが表示されます。



The screenshot shows the 'Control Panel' page in the Peregrine Portal. The page title is 'Peregrine Portal' and the breadcrumb is 'AssetCenter > 管理 > Project.common.admin.control.start'. The main content area displays a table of connection statuses for various adapters. The table has three columns: '接続先' (Destination), 'アダプタ' (Adapter), and 'ステータス' (Status). The adapters listed are 'weblication', 'mail', 'portalDB', and 'ac', all with a status of '接続中' (Connecting). Below the table is a 'サーバのリセット' (Reset Server) button.

接続先	アダプタ	ステータス
weblication	com.peregrine.oaa.adapter.ac.ACAdapter	接続中
mail	com.peregrine.oaa.adapter.mail.MailAdapter	接続中
portalDB	com.peregrine.oaa.adapter.ac.ACAdapter	接続中
ac	com.peregrine.oaa.adapter.ac.ACAdapter	接続中

このページでは、AssetCenter Webを使ってアクセスするデータベースへの接続ステータスを確認できます。

注意:

このページに初めてアクセスすると、ターゲットが未定義であるため、全ターゲットのステータスは【**切断**】となっています。

Archwayサブレットとバックエンドシステム用のアダプタ間の接続をリセットするには、【**サーバのリセット**】をクリックします。ページ上部に、接続がリセットされたことを示すメッセージが表示されます。

導入バージョンのリストを表示 / 印刷する

【**導入バージョン**】ページでは、インストール時に導入された全パッケージが列挙されています。各パッケージのバージョンを確認することもできます。

導入バージョンのリストを参照するには、以下の手順に従います。

- 1 アクティビティメニューで【**導入バージョン**】をクリックします。

The screenshot shows the '導入バージョン' (Imported Versions) page in the AssetCenter Web interface. The page title is '導入バージョン' and the breadcrumb is 'Project.common.admin.versions.versions'. The main content area displays a table of installed packages and their versions.

アプリケーション	バージョン
AssetCenter Adapter	acadapter.2.2.1.38
AssetCenter Web	acw.4.2.0.262
Asset Center Workflow Display Applet	acworkflow.2.2.0.45
OAA Archway Servlet	archway.2.2.3.27
Peregrine Enterprise Portal Asia Theme	asiatheme.2.2.0.55
Peregrine Enterprise Portal Baja Theme	bajatheme.2.2.0.55
Peregrine Enterprise Portal Blues Theme	bluestheme.2.2.0.56
Peregrine Enterprise Portal Classic Theme	classictheme.2.2.0.61
OAA Core Application	core.2.2.3.17
Get-Resources	getresources.2.5.0.3
Peregrine Enterprise Portal Gilded Theme	gildedtheme.2.2.0.55
Peregrine Enterprise Portal Greens Theme	greentheme.2.2.0.43
Peregrine Enterprise Portal Hightech Theme	hightechtheme.2.2.0.54
Peregrine Enterprise Portal Istanbul Theme	istanbultheme.2.2.0.55
Mail Adapter	mailadapter.2.2.1.45
Peregrine Enterprise Portal Midwest Theme	midwesttheme.2.2.0.55
Peregrine Enterprise Portal	portal.2.2.3.43
ServiceCenter Adapter	scadapter.2.2.1.21
Peregrine Enterprise Portal Sierra Theme	sierratheme.2.2.0.55
Peregrine Enterprise Portal Veneer Theme	veneertheme.2.2.0.55
Peregrine Enterprise Portal Xray Theme	xraytheme.2.2.0.55

印刷

- 2 アクティビティメニューで【**導入バージョン**】をクリックします。

サーバのログを参照する

【**サーバのログ**】ページでは、サーバイベントの履歴を確認できます。

サーバのログを参照するには、以下の手順に従います。

- 1 アクティビティメニューで、**[サーバのログ]**を選択します。ログファイルのリストが表示されます。



- 2 表示するログを選択してから、**[ログファイルの選択]**をクリックします。検索フォームが表示されます。特定のログファイルを検索したり、特定の期間内で検索したりすることができます。また、表示するログエントリの行数を指定することも可能です。



- 3 選択条件を入力した後、**【検索】**をクリックします。検索結果が表示されます。



ログファイル画面の上部と下部に位置するリンクを使って、ログ内を移動します。**【検索オプション】**ページ、または**【ログファイルの選択】**ページに戻り、新規にログファイルを選択することもできます。

【ログエントリにフィルタ適用】ドロップダウンリストを使用すると、スレッドID別のフィルタを適用できます。例えば、スクリプトボラが定期的に行われている場合、特定のスレッド別のフィルタを適用すると、スクリプトボラからのメッセージのみを表示できます。

設定ページを使用する

アクティビティメニューで **[設定]** をクリックすると、現行のパラメータの設定が表示されます。



[設定] ページは、複数のタブから構成されています。AssetCenter Webでは、以下のタブが使用可能です。

- ポータル
- AssetCenter
- 共通
- ポータルDB
- Webアプリケーション
- 電子メール

上記のタブに含まれているフィールドについては、それぞれのタブで説明されています。多数のフィールドには、大半のシステムに適用できるデフォルト値が、既に入力されています。デフォルト値を変更すると、デフォルト値に設定し直すためのリンクが表示されます。

管理モジュールの **[設定]** ページを使って変更を実行すると、「local.xml」ファイルが、「C:\application server\webapps\baa\WEB-INF」ディレクトリ内に作成されます。プロパティ設定の変更事項はすべて、このファイルに保存されます。「local.xml」ファイルに保存されているプロパティを変更した場合は、Tomcatを再起動する必要があります。

 **警告:**

[設定] ページでパラメータを変更した後に、AssetCenter Webを再インストールする必要がある場合、「local.xml」ファイルのコピーを作成し、AssetCenter Webインストール外に格納しておきます。これを実行しないと、再インストール時にパラメータ値が喪失することになります。インストールが完了した後、コピーを「WEB-INF」ディレクトリに戻します。

パラメータを定義する

パラメータを定義するには、以下の手順に従います。

- 1 変更する設定事項を選択し、新しいパラメータを入力します。

 **注意:**

パラメータを変更した後にデフォルトの設定に戻る場合、リセットするパラメータの説明領域に表示される **[デフォルトにリセットする場合はここをクリックしてください]** リンクをクリックします。パラメータのデフォルト値を変更した場合にのみ、このリンクは表示されます。

- 2 **[設定]** ページの下部にある **[保存]** ボタンをクリックします。 **[コントロールパネル]** ページが表示されます。
- 3 **[サーバのリセット]** をクリックします。ページ上部に、サーバがリセットされたことを示すメッセージが表示されます。

スクリプトのステータスを確認する

実行中のスクリプトの名前およびステータスは、 **[スクリプトのステータス]** ページで確認できます。スクリプトをクリックすると、スクリプトを有効または無効にできます。

メッセージキューを表示する

転送待ちのデータを含むキューがある場合、メッセージキューが表示されます。このアクティビティは、主にB2Bで使用されます。

キューのステータスを表示する

メッセージキューのステータスを確認または変更するには、次の手順に従います。

- 1 アクティビティメニューで [キューのステータス] をクリックします。
- 2 [キュー内の操作の切り替え] をクリックすると、キューのステータスを「使用可能およびアンロック」状態から「中断」状態に変更できます。



多言語用にシステムを設定する

本節では、英語以外の言語で、Get-Resourcesを使用するための設定方法を説明します。また、サポート可能な国コードおよび通貨コードの表も記載されています。

コンテンツタイプのエンコードを設定する

エンコードとは、特定の文字を数値にマッピング（関連付け）することを指します。文字セットは、ある言語で使われるすべてのアルファベットおよび記号を含んでいます。

AssetCenter Webでは、以下の設定が使用可能です。

- 米国およびヨーロッパ：ISO-8859-1（Windows用のデフォルト値）
- 日本語（Windowsのみ）：Shift_JIS

- ポーランド語（Windowsのみ）：ISO-8859-2

エンコードを設定するには、以下の手順に従います。

- 1 AssetCenter Webに管理者として接続し、管理モジュールをクリックします。アクティビティメニューで**【設定】**ページを選択します。
- 2 **【共通】**タブで、**【コンテンツタイプのエンコード】**フィールドの設定を必要に応じて変更します。
- 3 フォームの下部にある**【保存】**ボタンをクリックします。
- 4 コントロールパネルで、サーバをリセットします。

ロケールコードを設定する

ユーザがAssetCenter Webにログインすると、ログインプログラムは、ブラウザで指定された優先言語を検出し、優先言語がサポート可能かどうかを確認します。サポート可能である場合、AssetCenter Webは同言語で表示されます。サポートされていない言語の場合、デフォルトの言語が使用されます。デフォルトの言語は、管理モジュールの**【ロケール】**フィールドで指定されています。このフィールドに入力されている最初の言語が、デフォルトの言語となります。AssetCenter Webでは以下の言語がサポートされます。

言語	国コード
英語	en
フランス語	fr
ドイツ語	de
イタリア語	it
日本語	ja
ポーランド語	pl
スペイン語	es

ロケールコードを設定するには、以下の手順に従います。

- 1 管理モジュールの**【設定】**ページを開き、**【共通】**タブを選択します。
- 2 **【ロケール】**フィールドで、使用する言語に対応する、国コードを入力します。

 **注意:**

ユーザが使用言語をドロップダウンリストから選択できるようにするためには、[ロケール]フィールドの言語リストに英語(en)を含めます。英語に加えて、使用する言語すべてを、カンマ(,)で区切って指定します。以下の例では、英語、フランス語、ドイツ語およびイタリア語ロケールを使用します。



The screenshot shows the 'Admin Center' settings for 'ロケール' (Locale). The configuration is as follows:

- セッションのタイムアウト:** 600
- キャッシュの有効期限:** 2592000
- ロケール:** ja,en
- コンテンツタイプのエンコード:** Shift_JIS
- スクリプトホスト:** はい
- エンドユーザによるカスタマイズ:** 有効

The right sidebar provides detailed help text for the 'ロケール' setting:

ユーザーが使用可能な言語、およびその地域特有の表記を定義する対応ロケールのリスト。カンマ(,)で区切って指定します。ロケールを指定すると、ユーザのWebブラウザが、その地域の言語と日付形式、および通貨に設定されます。最初のロケールはデフォルトを定義します。ロケールは、ISO-639言語コード、およびISO-3166国コードオプションをアダプス コア(,)でつなげて指定します。例えば、「en」または「fr」だけの場合は、それぞれ英語またはフランス語に対応することを意味します。「en_US」または「en_GB」の場合は、さらにその地域の表記情報(加算)があるため、日付形式が外国の場合は月/日/年、英国の場合は日/月/年となります。「en」および「fr」は指定すると、1つのインストールで英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語の全言語を使用できます。
デフォルトにリセットする場合はここをクリックしてください。 [en]

JSPページが使用するJSPコンテナの生成用のJSPコンテナタイプのエンコードです。この値は、JSPページを生成するためにStudioが使うコンテンツタイプの値に同一である必要があります。
デフォルトにリセットする場合はここをクリックしてください。 [ISO-8859-1]

スクリプトホストを有効にします。[はい]を選択すると、enjファイルに登録されているスクリプトが、再帰的に実行されます。**通常、[はい]に設定してあります。**

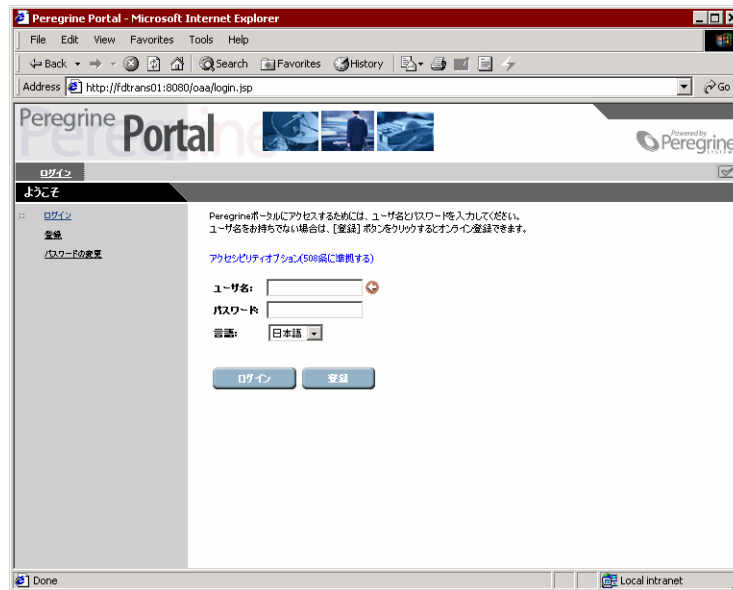
エンドユーザに許可されたカスタマイズのレベル:

- 有効 - エンドユーザはJSPコンテナで画面をカスタマイズできます。
- 無効 - 管理者でないエンドユーザは画面をカスタマイズする権限を持ちません。
- 制限付き - 管理者でないエンドユーザは、既存ファイルを移動または削除する権限のみを有します。

- 3 [設定]ページの下部にある[保存]ボタンをクリックします。[コントロールパネル]ページが表示されます。
- 4 [サーバのリセット]をクリックして、バックエンドシステムへの接続をリセットし、新規情報をインポートします。[ロケール]フィールドで、言語を1つしか指定していない場合、全情報が指定言語で表示されます。

複数の言語を指定した場合は、ログイン画面が英語で表示され、[Language]フィールドのドロップダウンリストから、希望する言語を選択できます。バックエンドシステムが、AssetCenter Webの使用言語と異なる言語で設定されてい

る場合、バックエンドシステムからのデータは、バックエンドシステムの言語で表示されます。



通貨コードを設定する

以下の表は、サポート可能な通貨に対応するISOコードを示しています。ISOコードは、管理モジュールの【設定】ページの【通貨】フィールドに入力します。

通貨コード	通貨
ALL	アルバニアレク
ARP	アルゼンチンペソ
ATS	オーストリアシリング
AUD	オーストラリアドル
BEF	ベルギーフラン
BHD	バーレーンディナール
BOB	ボリビアボリビアーノ
BRR	ブラジルレアル
BYR	ベラルーシルーブル
CAD	カナダドル
CHF	スイスフラン
CLP	チリペソ

通貨コード	通貨
CNY	中国元
COP	コロンビアペソ
CRC	コスタリカコロン
DEM	ドイツマルク
DKK	デンマーククローネ
DOP	ドミニカペソ
DZD	アルジェリアディナール
ECS	エクアドルスクレ
EEK	エストニアクルーン
EGP	エジプトポンド
ESP	スペインペセタ
EUR	ユーロ（オーストリア、ベルギー、ドイツ、スペイン、フィンランド、フランス、アイルランド、イタリア、ルクセンブルグ、オランダ、ポルトガル、ギリシャ）
FIM	フィンランドマルカ
FRF	フランスフラン
GBP	英ポンド
GTQ	グアテマラケツツアル
HKD	香港ドル
HNL	ホンジュラスレンピラ
HUF	ハンガリーフォーリント
IEP	アイルランドポンド
ILS	イスラエルシェケル
ITL	イタリアリラ
JOD	ヨルダンディナール
JPY	日本円
KRW	韓国ウォン
KWD	クウェートディナール
LBP	レバノンポンド
LTL	リトアニアリタス
LUF	ルクセンブルグフラン
LVL	ラトビアラット
LYD	リビアディナール
MAD	モロッコディルハム
MKD	マケドニアデナール
MXP	メキシコペソ
NIO	ニカラグアコルドバオロ
NLG	オランダギルダー
NOK	ノルウェークローネ
NZD	ニュージーランドドル

通貨コード	通貨
OMR	オマーンリアル
PAB	パナマバルボア
PEN	ペルーヌエボソル
PLZ	ポーランドズロティ
PTE	ポルトガルエスクード
PYG	パラグアイグアラニ
QAR	カタールリアル
ROL	ルーマニアレウ
RUR	ロシアルーブル
SAR	サウジアラビアリヤル
SDD	スーダンディナール
SEK	スウェーデンクローナ
SIT	スロベニアトール
SKK	スロバキアコルナ
SVC	エルサルバドルコロン
SYP	シリアポンド
THB	タイバーツ
TND	チュニジアディナール
TRL	トルコリラ
TWD	台湾ドル
UAH	ウクライナグリブナ
USD	米ドル
UYU	ウルグアイペソ
VEB	ベネズエラボリバル
YER	イエメンリアル
YUM	ユーゴスラビア新ディナール
ZAR	南アフリカランド

日付と通貨はすべて、ユーザの言語で表示 / 編集されます。カレンダーでは、各曜日はユーザの言語に訳されています。週の第1日目は、ユーザのロケールに応じて決まります。

通貨は、適切な通貨記号と少数点表記法を使って表示されます。ただし、小数点と千の区切りは、表示中の通貨ではなく、現在選択されている言語に応じて設定されます。例えば、フランス語インタフェースの場合、米ドルの金額は「\$1 234,00」と表示されます。同様に、ドイツ語インタフェースでは「\$1.234,00」、英語インタフェースでは「\$1,234.00」と表示されます。

フォーム情報を表示する

管理モジュールを使用すると、現在のフォームの場所とファイル名を表示するように、AssetCenter Webフォームを設定できます。

注意:

Peregrine Sysytemsは、Peregrine Systemsのカスタマサポートからの勧告がない限り、本節の設定作業を実行しないようお勧めします。これを実行すると、アプリケーションの性能に影響が及ぶ可能性があります。

フォーム情報を表示するには、以下の手順に従います。

- 1 管理モジュールで、**[設定]**をクリックします。
- 2 **[フォーム情報]**フィールドで、**[はい]**を選択します。

- 3 ページの下部にある**[保存]**ボタンをクリックします。**[コントロールパネル]**ページが表示されます。

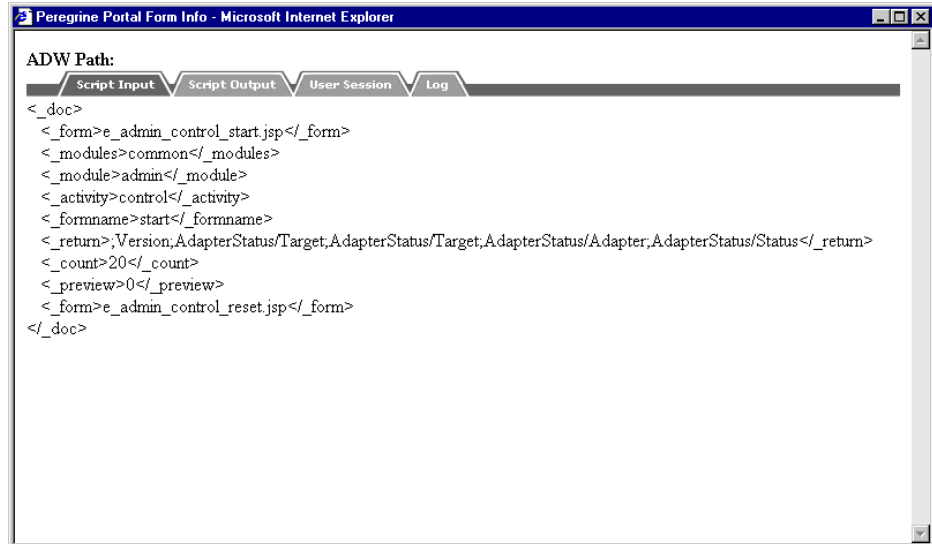
- 4 **【サーバのリセット】**をクリックします。各フォームの上部にフォーム名が表示されます。



フォームの詳細を表示する

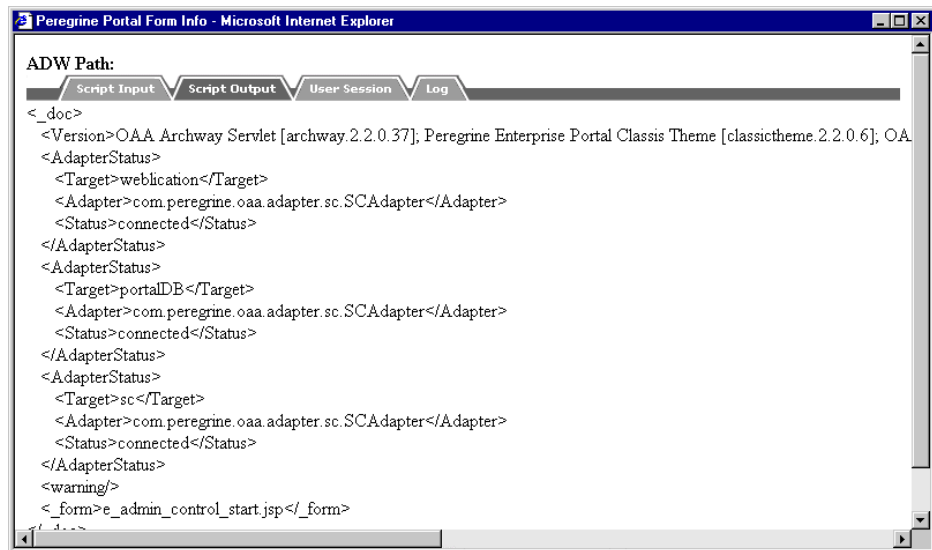
現在のフォームに関する詳細情報を表示することも可能です。フォームの右上にある**【フォーム関連情報の表示】**ボタンをクリックすると、以下のタブを含むウィンドウが表示されます。

- Script Input : バックエンドシステムに要求を送信するスクリプト



```
ADW Path:
Script Input
Script Output
User Session
Log
<_doc>
  <_form>e_admin_control_start.jsp</_form>
  <_modules>common</_modules>
  <_module>admin</_module>
  <_activity>control</_activity>
  <_formname>start</_formname>
  <_return>;Version,AdapterStatus/Target,AdapterStatus/Target,AdapterStatus/Adapter,AdapterStatus/Status</_return>
  <_count>20</_count>
  <_preview>0</_preview>
  <_form>e_admin_control_reset.jsp</_form>
</_doc>
```

- Script Output : 情報要求を受信した、バックエンドシステムが返す情報



```
ADW Path:
Script Input
Script Output
User Session
Log
<_doc>
  <_form>e_admin_control_start.jsp</_form>
  <_modules>common</_modules>
  <_module>admin</_module>
  <_activity>control</_activity>
  <_formname>start</_formname>
  <_return>;Version,AdapterStatus/Target,AdapterStatus/Target,AdapterStatus/Adapter,AdapterStatus/Status</_return>
  <_count>20</_count>
  <_preview>0</_preview>
  <_form>e_admin_control_reset.jsp</_form>
</_doc>
```


- User Session : 現行のユーザセッションに関する詳細 (ブラウザの種類、バックエンドシステムのバージョン、現在のユーザ用のアクセス権限など)

```

ADW Path:
Script Input  Script Output  User Session  Log
<user browserType="IE"
  _ctxidval=""
  context="modelJS"
  jaasConfiguration="getit.admin"
  _bookmarkCookie="true"
  _ctxidfld=""
  currency="USD"
  _password=""
  _activity="e.admin.control"
  _skin="classic"
  _ctxobj=""
  _bookmark="/oaa/e_login_main_process.jsp?
  _x=_y&_blankFields=&_callingform=e_login_main_process.jsp&_backform=e_login_main_process.jsp&_ctxobj=&_ctxidf
  browserVersion="5.5"
  _formfile="e_admin_control_start.jsp"
  _name="Admin"
  _form="e.admin.control.start"
  language="en"
  country=""
  _ctxidval=""
  
```

- Log : フォームを実行するためにスクリプトが実行したアクションのログ

ユーザ登録

ユーザがバックエンドシステムで未登録である場合、ユーザ自身が登録作業を実行できます。登録すると、新規ユーザアカウント (基本ログイン権限を含む) がバックエンドシステム内に作成されます。

ログイン画面で登録するには、以下の手順に従います。

- 1 アクティビティメニューで [登録] をクリックします。

- 表示されるフォームで、各欄に情報を入力します。矢印のついた最初の4フィールドは、必須フィールドです。

- 【登録】**をクリックします。新規ユーザが登録されたことを示すメッセージが表示されます。パスワードは、アカウントの作成後に電子メールで送信されます。パスワードを変更する方法については、本章の「**パスワードの変更**」の節を参照してください。
- アクティビティメニューで**【ログイン】**をクリックして、ログイン画面にアクセスします。

パスワードの変更

ログイン画面で、パスワードを容易に変更することができます。
パスワードを変更するには、以下の手順に従います。

- Peregrineポータルの**【ようこそ】**ページを表示します。

- 2 アクティビティメニューで [パスワードの変更] をクリックします。

Peregrine Portal - Microsoft Internet Explorer

File Edit View Favorites Tools Help

Address http://fdtrans01:8080/oa/login.jsp

Peregrine Portal

Powered by Peregrine

ログイン

ようこそ

ログイン
登録
パスワードの変更

Peregrineポータルにアクセスするためには、ユーザー名とパスワードを入力してください。ユーザー名をお持ちでない場合は、[登録] ボタンをクリックするとオンライン登録できます。

アクセシビリティアシスト(508編に準拠する)

ユーザー名:

パスワード:

言語: 日本語

ログイン 登録

Done Local intranet

- 3 表示されるフォームで、ユーザログイン名と現在のパスワードを入力します。

Peregrine Portal

Powered by Peregrine

ログイン

パスワードの変更

ログイン
登録
パスワードの変更

既存のユーザー名とパスワードを入力し後に、新しいパスワードを入力してください。

ユーザー名:

現在のパスワード:

新しいパスワード:

新しいパスワードの再入力:

パスワードの変更 戻る

- 4 新しいパスワードを入力し、2番目のフィールドにこのパスワードを再度入力して確認します。
- 5 **【パスワードの変更】**をクリックします。パスワードが変更されたことを示すメッセージが表示されます。

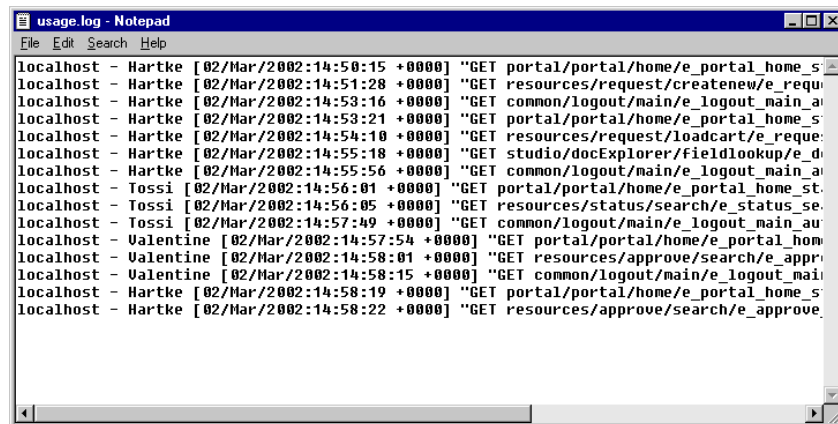
ユーザセッションのログとモニタリング

ユーザログインの記録は、アプリケーションサーバのインストールの「bin」ディレクトリ内の「usage.log」ファイルに格納されます。このファイルを使うと、使用中のアプリケーションを確認したり、特定のアプリケーションへの1日当たりのアクセス件数を確認したりできます。

「usage.log」ファイルとは？

以下の例では、「usage.log」ファイルの一部を示しています。

```
localhost - Hartke [02/Mar/2002:14:53:21 +0000] "ACW portal/portal/home/e_portal_home_start.jsp HTTP/1.0" 200 0
```



```
usage.log - Notepad
File Edit Search Help
localhost - Hartke [02/Mar/2002:14:50:15 +0000] "GET portal/portal/home/e_portal_home_start.jsp HTTP/1.0" 200 0
localhost - Hartke [02/Mar/2002:14:51:28 +0000] "GET resources/request/createnew/e_request.jsp HTTP/1.0" 200 0
localhost - Hartke [02/Mar/2002:14:53:16 +0000] "GET common/logout/main/e_logout_main.asp HTTP/1.0" 200 0
localhost - Hartke [02/Mar/2002:14:53:21 +0000] "GET portal/portal/home/e_portal_home_start.jsp HTTP/1.0" 200 0
localhost - Hartke [02/Mar/2002:14:54:10 +0000] "GET resources/request/loadcart/e_request.jsp HTTP/1.0" 200 0
localhost - Hartke [02/Mar/2002:14:55:18 +0000] "GET studio/docExplorer/fieldlookup/e_fieldlookup.jsp HTTP/1.0" 200 0
localhost - Hartke [02/Mar/2002:14:55:56 +0000] "GET common/logout/main/e_logout_main.asp HTTP/1.0" 200 0
localhost - Tossi [02/Mar/2002:14:56:01 +0000] "GET portal/portal/home/e_portal_home_start.jsp HTTP/1.0" 200 0
localhost - Tossi [02/Mar/2002:14:56:05 +0000] "GET resources/status/search/e_status_search.jsp HTTP/1.0" 200 0
localhost - Tossi [02/Mar/2002:14:57:49 +0000] "GET common/logout/main/e_logout_main.asp HTTP/1.0" 200 0
localhost - Valentine [02/Mar/2002:14:57:54 +0000] "GET portal/portal/home/e_portal_home_start.jsp HTTP/1.0" 200 0
localhost - Valentine [02/Mar/2002:14:58:01 +0000] "GET resources/approve/search/e_approve_search.jsp HTTP/1.0" 200 0
localhost - Valentine [02/Mar/2002:14:58:15 +0000] "GET common/logout/main/e_logout_main.asp HTTP/1.0" 200 0
localhost - Hartke [02/Mar/2002:14:58:19 +0000] "GET portal/portal/home/e_portal_home_start.jsp HTTP/1.0" 200 0
localhost - Hartke [02/Mar/2002:14:58:22 +0000] "GET resources/approve/search/e_approve_search.jsp HTTP/1.0" 200 0
```

ログイン1件につき1行が記録されます。1ユーザセッション内では、使用したモジュールごとに1行が記録されます。

以下の表は、ログエントリの各要素の意味を説明しています。

リモートホスト	Rfc931	ユーザのログイン	日付	要求	ステータス	バイト
localhost	-	Hartke	[02/Mar/2002: 14: 53:21 +0 000]	"GET portal/portal/home/e_portal_home_start.jspHTTP/1.0"	200	0

テーブルの列の説明は、以下のとおりです。

- **リモートホスト**：リモートホスト名またはIPアドレス（DNSホスト名が使用不可能または未提供である場合）
- **Rfc931**：ユーザのリモートログイン名。この情報は必要ではないため、常にダッシュ記号が表示されます。
- **ユーザのログイン**：Peregrineポータルにログインするために認証されたユーザ名
- **日付**：要求の日付と時刻
- **要求**：ユーザがアクセスしたモジュール。「GET」パラメータの最初の部分が、モジュール名を示します。この例では、ユーザは「portal」（ログインスクリプトの場所）モジュールにアクセスしました。
- **ステータス**：クライアントに返されたHTTP応答コード。この値は常に「200」です（有効な要求）。
- **バイト**：転送されたバイト数。この情報は必要ではないため、常に0が表示されます。

ログ設定の定義

「usage.log」ファイルの設定を定義するには、管理モジュールの**【設定】**ページを使用します。**【共通】**タブの**【システムの使用ログ】**セクション内のフィールドを使用します。

使用ログは、ログファイルエントリのアーカイブを毎日作成するように設定されています。ログファイルエントリは、以下の設定内容に従って、Zipファイルに保存されます。

- **ログファイルのアーカイブ時刻**：ログファイルをZipファイルにアーカイブする時刻を、次のように入力してください（アーカイブを省く場合は空欄にします）。「hh:mm:ss」または「hh:mm」。デフォルトは、00:00です。
- **アーカイブする日数**：ログファイルのアーカイブで保存する日数を入力します。デフォルトは、31日です。

デフォルトでは、使用ログの報告が毎月作成されるように設定されています。

以下の図は、[システムの使用ログ] セクションを示しています。



カスタマイズ機能

カスタマイズ機能を使用すると、手動でコードを変更/コンパイルすることなく、アプリケーション画面をカスタマイズすることが可能になります。依頼モジュールのフォームでカスタマイズ機能を使用できます。フォームでカスタマイズ機能が使用可能である場合、画面の右上にスパナ型のアイコンが表示されます。

カスタマイズ機能のアクセス権限

カスタマイズ機能へのアクセス権限を付与または拒否することができます。

カスタマイズの階層

カスタマイズ機能の設定は、ユーザ権限の階層に基づいて定義されます。一般的には、管理者が様々な画面のコンテンツと機能を設定するためにカスタマイズ機能を使用し、標準/デフォルト設定を全ユーザに適用します。多くの企業では、この種のカスタマイズ機能のみが許可されています。

また、企業内の異なるユーザグループに対して、特定の設定を適用することも可能です。例えば、IT課のユーザの製品画面では、他の部署のユーザの画面と比べてより詳細な情報が表示されるように設定できます。

さらに、企業レベルおよび部署レベルで適用されるデフォルトのカスタマイズ事項に加えて、個人のユーザが自分の画面をカスタマイズすることを許可することも可能です。

カスタマイズ機能の階層は、各ユーザがシステムにログインする際に呼び出されるECMAスクリプトにより定義されています。スクリプトは、各ユーザ用の階層を示す文字列を返します。例えば、IT課の社員「Hartke」の場合、ユーザの階層は以下のように定義されます。

```
/admin/IT/Hartke
```

この例でユーザ「Hartke」は、管理レベルで定義されているカスタマイズ機能の設定に加え、IT課レベルで定義されている設定に対してもアクセスできます。また、個人の設定は、ユーザ「Hartke」のレベルで保存されます。

デフォルトのスクリプト設定は、「personalize.getHierarchy」です。このスクリプトは、2レベルのカスタマイズ機能を定義します。

- admin：このレベルは、「getit.admin」権限または「getit.personalization.admin」権限を持つユーザに適用されます。
- /admin/<user>：このレベルは、全ユーザに適用されます。「/admin」レベルで定義されたすべての設定が継承されます。新たな変更事項は、各ユーザ用に別々に保存されます。

「personalize.getHierarchy」スクリプトを調整すると、必要に応じてデフォルト設定を変更できます。

ユーザのカスタマイズ権限

カスタマイズ機能の内容は、ユーザ権限の種類に応じて異なります。ユーザ権限は、以下のように分類できます。

getit.personalization：ユーザは、「カスタマイズ機能を使用できるエンドユーザ」として分類されます。これは、全ユーザに対して定義されているデフォルト設定です。「personalizeaccess」設定で以下の値の1つを選択すると、エンドユーザのアクセス権限を定義できます。

- 無効：エンドユーザは、管理者が指定したデフォルトのカスタマイズ設定のみを参照できます。エンドユーザは変更する権限を持ちません。
- 有効：エンドユーザは、デフォルトのカスタマイズ設定を継承します。また、自分の画面でフィールドを追加 / 削除できます。
- 制限付き：エンドユーザは、デフォルトのカスタマイズ設定を継承し、変更事項を適用できます。ただしエンドユーザは、管理者のデフォルトのカスタマイズ設定に含まれているフィールドにのみ限り、変更することができます。エンドユーザは、読取り専用のフィールドを、編集可能に変更することはできません。

getit.personalization.admin：ユーザは、「管理者」として分類され、以下のような特別な権限が付与されます。

- カスタマイズ機能で、更新 / 作成 / 削除処理が使用可能かどうかを指定する権利
- 全ユーザが継承する設定を定義する権利

必須パラメータ

設定パラメータの中には、ユーザ用にAssetCenter Webを設定するために使用されるものがあります。このようなパラメータは、管理モジュールメニューの[設定]セクションで設定できます。

AssetCenter Webで使用するデータベースの名前を定義する

AssetCenter Webで使用するデータベースの名前を定義するには、[AssetCenter アダプタの設定]セクション内のオプションを設定します。[データベース]フィールドでは、データベースを選択します。

ロケールを定義する

[標準実行オプション]セクションで、[ロケール]オプションの値を設定します。

このオプションは、ユーザの国で使用可能な言語およびその地域特有の表記を定義する対応ロケールのリストを含みます。ロケールはカンマ(,)で区切って指定します。またロケールを指定すると、ユーザのWebブラウザが、その地域の言語と日付形式、および通貨に設定されます。最初の値は、デフォルトのロケールを定義します。ロケールは、ISO-639言語コード、およびISO-3166国コード(任意)をアンダスコア(_)でつなげて指定します。例えば、「en」または「fr」だけの場合は、それぞれ英語またはフランス語に対応することを意味します。「en_US」および「en_GB」の場合は、さらにその地域の表記情報が加わるため、日付形式が米国の場合は「月/日/年」、英国の場合は「日/月/年」になります。「en,fr,de,it」と指定すると、1つのインストールで英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語の全言語を使用できます。

AssetCenter Webページへのアクセス権限を定義する

[標準実行オプション]セクションで、[アクセス権限]オプションの値を設定します。

このオプションは、プロファイルに関係なくすべてのユーザが持つアクセス権限のリストを含みます。以下の値を使用すると、全てのユーザが様々なモジュールにアクセスできるようになります。

```
portalDB(getit.portal); ac(acw.portfolio;acw.contract;acw.finance;acw.system)
```


 **注意:**

全ユーザが1モジュールにのみ（例：「従業員」モジュール）アクセスできるように設定するには、「acw.employee」権限のみをアクセス権のリストに含めません。個人ごとにアクセス権を管理するには、各ユーザのプロファイルを別々にカスタマイズする必要があります。

ユーザ権限に対応するモジュールは、以下のとおりです。

- acw.portfolio：ポートフォリオモジュールへのアクセスを許可します（コンピュータ、部署、従業員、場所、自分の作業指示、電話、ポートフォリオ品目）。
作業指示画面へアクセスするには、「acw.portfolio.manager」権限を登録する必要があります。
- acw.contract：契約モジュールの画面へのアクセスを許可します（契約）。
- acw.finance：ファイナンスモジュールの画面へのアクセスを許可します（予算センタ、経費付替えシステム、コストセンタ）。
- acw.system：システムモジュールの画面へのアクセスを許可します（会社、契約、自分のメッセージ）。
【進行中のタスク】画面へアクセスするには、「acw.system.mytasks」権限を登録する必要があります。
【進行中のタスク】画面へアクセスするには、「acw.system.mytasks」権限を登録する必要があります。

ユーザ権限は、権限に対応するモジュールの画面へのアクセスを許可するだけでなく、他のモジュールの画面でも同モジュールへのリンクを表示します。

設定を確定する

上記のパラメータを設定した後に、以下の操作を実行します。

- 1 管理モジュールの【設定】ページで、【保存】ボタンをクリックします。
- 2 【コントロールパネル】メニューをクリックし、表示されるページで【サーバのリセット】をクリックします。

4 | AssetCenter Webの使用

本章の内容は次のとおりです。

- AssetCenter WebのWebアプリケーションのインタフェース
- AssetCenter Webの標準Webアプリケーションの機能

インタフェース

AssetCenter Webへの接続

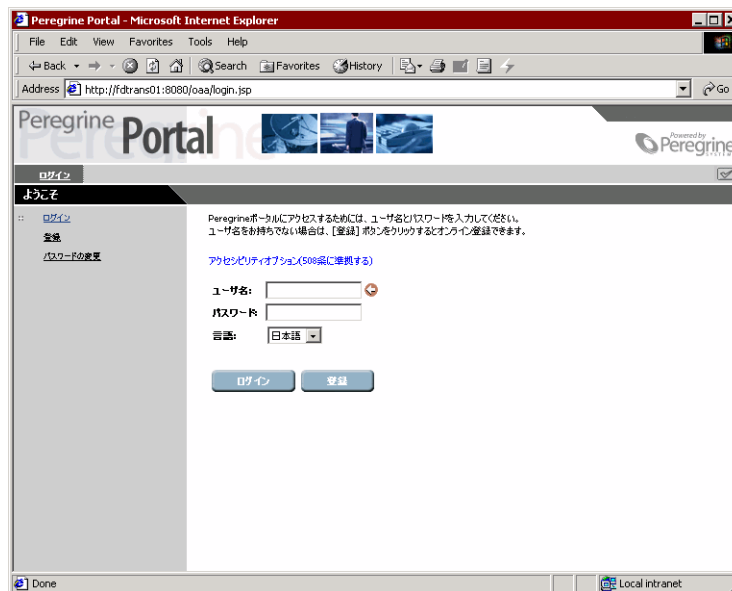
AssetCenter Webに接続するには、次の手順に従います。

- 1 お使いのブラウザの画面で、以下のURLを入力します。

 **注意:**

localhostには、使用しているOAAのサーバ名を入力します。

- 2 入力したURLを確定します。
- 3 ブラウザの画面で、AssetCenter Webのホームページが表示されるのを待ちます。



メインメニュー

AssetCenter Web画面の左パネルには、使用可能な全Webアプリケーションのリストが表示されます。メニューエントリをクリックすると、対応するWebアプリケーションのページにアクセスできます。

参照ウィンドウ

AssetCenter Web画面の右パネルには、検索結果、レコードの変更事項などの情報が表示されます。



ツールバー

以下の一覧表は、ツールバーに表示されるアイコンとその機能を示しています。


アイコン	機能
<input checked="" type="checkbox"/>	このアイコンを使うと、AssetCenter Webのセッションを終了できます。
<input checked="" type="checkbox"/>	このアイコンを使うと、データベース内で検索を実行できます。

AssetCenter Web画面で使用可能なアイコン

各Webアプリケーションのページで、以下のアイコンを使用することができます。

アイコン	機能
	リンクの詳細情報を表示します。
	フィールドの内容をクリアします。

接続の切断

接続を切断するには、AssetCenter Webのツールバーで  アイコンをクリックします。

デフォルトのWebアプリケーション

AssetCenter Webの標準バージョンでは、簡単な一連の機能が提供されています。このような機能にアクセスするには、次の手順に従います。

- AssetCenter Web経由でデータベースに接続します。
- メインメニューで、希望する機能に対応するメニューエントリをクリックします。



選択した機能に応じて、以下の情報を含む画面が表示されます。



- AssetCenterデータベースのデータ
- データの選択リスト（このリストでは、AssetCenterデータベースのデータを選択できます。）
- テキストの入力ゾーン

注意:

次節では、AssetCenter Webで使用可能な標準機能を説明します。ポートフォリオ品目レコードの参照機能（本マニュアルで後記）の使用方法は、その他の機能の使用方法に類似しています。

使用可能なモジュール

- 契約 
- ファイナンス 

- ポートフォリオ 
- システム 

契約の管理に関連する機能

- 契約：このWebアプリケーションでは、契約のレコードを検索し、詳細情報を表示することができます。また、契約に関連する賃貸料、資産、経費に関する情報も表示できます。

ファイナンス管理に関連する機能

- 予算センタ：このWebアプリケーションでは、希望する予算センタを検索することができます。また、予算センタの責任者、リンクされている予算やコストセンタを検索することも可能です。
- 経費付替えシステム：このWeb用アプリケーションでは、経費付替えシステムを検索し、詳細情報（規則、イベント）を表示することができます。
- コストセンタ：このWebアプリケーションでは、コストセンタのレコードを検索し、詳細情報を表示することができます。また、コストセンタに関連する従属コストセンタや経費明細に関する情報も表示できます。

ポートフォリオ管理に関連する機能

- コンピュータ：このWebアプリケーションでは、資産の物理データを表示し、コンピュータの詳細情報に含まれている全フィールドを変更することができます。
このWebアプリケーションでは、**[前回のスキャン]**時にスキャンされたコンピュータのリストを参照できます。
- 部署：このWebアプリケーションでは、完全リストから部署を検索し、詳細情報を表示することができます。
- 従業員：このWebアプリケーションでは、従業員のレコードを検索できません。また、検索された従業員レコードの詳細情報、および同従業員が使用する資産のリストを表示し、電話番号やコメントなどの情報を更新することもできます。
- 場所：このWebアプリケーションでは、場所を検索し、詳細情報を表示することができます。
- 自分の作業指示：このWebアプリケーションでは、自分に割り当てられたチケットを参照したり変更したりすることができます。

- 電話：このWebアプリケーションでは、電話機を検索し、詳細情報を表示することができます。
- ポートフォリオ品目：このWeb用アプリケーションでは、ポートフォリオに登録されている資産のレコードを検索し、詳細情報を表示することができます。
 - モデル
 - 割当
 - 演算子
 - ユーザ
 - 場所
 - 在庫
 - 資産タグ
- 作業指示：このWebアプリケーションでは、ユーザに割り当てられた作業指示のレコードを参照できます。また、作業指示のレコードを更新、クローズ、または再度オープンすることもできます。

機能例

本節では、AssetCenter Webで資産レコードを参照するための機能について説明します。

- 1 この機能にアクセスするには、AssetCenter Webのメインメニューで [ポートフォリオ] メニューをクリックします。



- 2 このWebアプリケーションでは、以下の検索条件を適用して資産のレコードを検索できます。
 - モデル
 - 割当
 - 演算子
 - ユーザ
 - 設置場所
 - 在庫
 - 資産タグ
- 3 ポートフォリオモジュールで [コンピュータ] Webアプリケーションをクリックします。次に [検索] ボタンをクリックします。

AssetCenter Webは、検索条件に一致するポートフォリオのコンピュータを表示します。

The screenshot displays the AssetCenter Web interface. The top navigation bar includes 'Peregrine Portal' and 'Powered by Peregrine'. The main content area is titled 'コンピュータの選択' (Computer Selection) and shows a list of computers with columns for '名前' (Name), 'ドメイン/グループ' (Domain/Group), 'モデル' (Model), and 'ユーザ' (User). The left sidebar contains a navigation menu with categories like 'AssetCenter', 'Portfolio', 'Contract', 'Finance', and 'System'.

名前	ドメイン/グループ	モデル	ユーザ
CPU000001		EVO D500 LP	木村 敦子
CPU000002		EVO D500 LP	西田 啓介
CPU000003		EVO D500 LP	東郷 健二
CPU000004		EVO D500 LP	山田 啓介
CPU000005		EVO D500 LP	森川 俊三
CPU000006		EVO D500 LP	本多 京介
CPU000007		EVO D500 LP	松井 亮子
CPU000008		EVO D500 LP	広田 一平
CPU000009		EVO D500 LP	前田 友子
CPU000010		EVO D500 LP	川崎 慧子
CPU000011		Deskpro EN - DT - PIII 933	岡本 俊三
CPU000013		Netserver lc 2000	堀中 安奈
CPU000015		Netserver lc 2000	佐藤 清子
CPU000012		EVO D500 LP	岡本 俊三
CPU000014		Netserver lc 2000	堀中 安奈
CPU000016		Netserver lc 2000	佐藤 清子
CPU000017		Inspiron 5000	東郷 健二

- 4 希望するコンピュータをクリックして詳細を表示します。例えば、[名前]が「CPU000001」であるコンピュータをクリックします。



表示されるデータ

本節では、AssetCenter Webで処理、表示されるデータについて説明します。

ライブデータ

AssetCenter Webでは、AssetCenterデータベースに記録されているデータと同一のデータが表示されます。AssetCenter Webは、データベースの最新データが統合されるように、HTMLページを動的に作成します。

その結果一般ユーザは、WindowsのAssetCenterプログラム経由でAssetCenterデータベースにアクセスしているかのように、AssetCenter Webを使用できます。

 **注意:**

AssetCenter Webの使用中に、表示中のデータに対応するデータベース内のデータに変更が加えられる可能性があります。古いデータを更新するには、ブラウザの更新ボタンをクリックします。

セキュリティで保護されたデータ

管理者は、特定のデータへのアクセス権限をユーザに与えます。ユーザは、自分の権限に応じて許可されているデータのみを表示できます。



October 10, 2002